

平成28年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	早稲田大学	タイプ	A-②
事 業 名	多層的紛争解決・社会変革のためのグローバルリーダー共同育成プログラム		

〔評価コメント〕

本事業計画は、「紛争解決」というテーマに焦点を絞っており、学びの場を早稲田大学だけでなく、中国・北京大学及び韓国・高麗大学校と連携させることにより、多層的な紛争に対し革新的な提案を行ない、それを実践する次世代リーダー育成を目的とした事業として評価できる。「グローバル社会」への貢献を目指し、東アジア発の紛争解決・社会変革プログラムによる国際化に向け、これまでの実績である「大学の世界展開力強化事業」、「スーパーグローバル大学等支援事業」等のノウハウをもとに、遠隔教育、アクティブラーニング、PBL等の各種手法を取り入れた日中韓交流プログラムを進める意欲的な取組である。

また、早稲田大学のこれまで培ってきた北京大学及び高麗大学校との密接な交流を活かした体制で実施する計画となっており、本事業を進めるための準備は参加大学間で着実に進められてきていると考えられる。更に、テーマの重要性、目標とする人材像、それを実現するカリキュラムの具体性があり、各大学間の交流の枠組みとして位置付けられている。紛争解決を円滑に遂行することは、各国の価値観も異なるため、大変難しい課題であるが、成功すれば波及効果が強く期待できる。

学生の支援体制についても、これまで、「大学の世界展開力強化事業」、「スーパーグローバル大学等支援事業」に加えて、「国際化拠点整備事業（G30）」、「海外留学支援制度」等、多くの実績から大学の国際化が進んでおり、更に、本事業では、留学先の組み合わせが可能な1セメスターの留学制度を新設し、学生の多様なニーズに対応している。成績管理、単位制度のすり合わせ、評価システムなどについても実績に基づき、しっかり構築されている。社会変革に貢献する人材を目指す学部教育としては、ユニークな計画である。また、英語以外にも中国語、韓国語の語学力習得を要求し、留学準備講座を提供している点が、学生交流に対して意欲的であり期待できる。

一方で、カリキュラムの面では、学部生を対象にしていることから、個々の学生指導において、よりきめ細かなニーズに対応することも必要であり、更なる検討が望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の我が国と中韓両国との関係を見据え、質保証を伴った国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。